

議会だより しき

No.157

平成 24 年 8 月 1 日



7月8日(日)に行われた
宿組八坂神社祭礼

第1回(4月)臨時会
議会人事(P2)
議案等一覧及び審議結果(P3)
第2回(6月)定例会
議案等一覧及び審議結果(P3)
一般質問(P4~P11)
第2回(6月)臨時会
議案等一覧及び審議結果(P3)
議会からのお知らせ(P12)

新しい議会構成が決まりました



監査委員
香川 武文



副議長
磯野 晶子



議長
伊地知伸久

就任あいなひ

平素より、市議会に対しまして温かいご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。さて、先の市議会議員一般選挙後の初議会におきまして、私たちは、議員各位のご推挙により、議長、副議長並びに監査委員の要職に就任をいたしました。微力ながら円滑な議会運営と市政発展のため、全力を傾けてまいりたいと存じます。

現在、少子高齢化の進展をはじめとする社会、経済情勢が厳しさを増す中、志木市においては市民病院、市庁舎耐震化等、重要案件の検討が進んでおりますが、市議会といたしましても、市民が安心して暮らせる志木市がさらに発展するため、一人ひとりの議員が市民の代表としてその機能を十分に発揮していくとともに、市民の負託と期待に応え努力してまいります。

引き続き、市民の皆様のご支援を心よりお願い申し上げます。

各委員会の構成

文教都市 常任委員会



委員長
河野 芳徳
副委員長
池ノ内秀夫
委員
高浦 康彦
小山 幹雄
磯野 晶子

市民福祉 常任委員会



委員長
天田いづみ
副委員長
吉川 義郎
委員
水谷 利美
内山 純夫
伊地知伸久

総務 常任委員会



委員長
香川 武文
副委員長
鈴木 潔
委員
有賀 千歳
西川 和男
永井 誠

議会運営 委員会



委員長
鈴木 潔
副委員長
香川 武文
委員
高浦 康彦
吉川 義郎
池ノ内秀夫

平成 24 年第 1 回志木市議会臨時会議案等一覧及び審議結果

平成 24 年 4 月 26 日

議案等番号	件名	審議結果	採決状況
第28号議案	専決処分の承認を求めることについて (平成23年度志木市一般会計補正予算(第5号))	原案承認	全会一致
第29号議案	専決処分の承認を求めることについて (志木市税条例の一部を改正する条例)	原案承認	賛成多数
第30号議案	専決処分の承認を求めることについて (志木市都市計画税条例の一部を改正する条例)	原案承認	賛成多数
第31号議案	専決処分の承認を求めることについて (志木市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	原案承認	全会一致
第32号議案	専決処分の承認を求めることについて(朝霞地区一部事務組合の共同処理する事務の変更及び規約変更について)	原案承認	全会一致
第33号議案	志木市監査委員の選任について	原案同意	賛成多数
第34号議案	工事請負契約の締結について (志木第三小学校校舎大規模改修等工事)	原案可決	全会一致

平成 24 年第 2 回志木市議会定例会議案等一覧及び審議結果

平成 24 年 6 月 1 日・6 月 21 日

議案等番号	件名	審議結果	採決状況
第36号議案	平成24年度志木市一般会計補正予算(第1号)	原案可決	賛成多数
第37号議案	志木市ふれあいプラザ条例の一部を改正する条例	原案可決	賛成多数
第38号議案	志木市印鑑条例等の一部を改正する条例	原案可決	全会一致
第39号議案	埼玉県後期高齢者医療広域連合の規約変更について	原案可決	全会一致
請願第1号	消費税増税の反対に関する請願	不採択	賛成多数
請願第2号	建設業従事者のアスベスト被害者の早期救済・解決を図るよう国に働きかける意見書の提出を求める請願書	不採択	賛成多数

平成 24 年第 2 回志木市議会臨時会議案等一覧及び審議結果

平成 24 年 6 月 28 日

議案等番号	件名	審議結果	採決状況
第40号議案	志木市教育委員会委員の任命について	原案同意	全会一致

一般質問

選挙後初の一般質問！

質問した議員

吉川 義郎 議員
西川 和男 議員
池ノ内秀夫 議員
有賀 千歳 議員
河野 芳徳 議員
香川 武文 議員
磯野 晶子 議員
内山 純夫 議員
鈴木 潔 議員
高浦 康彦 議員
水谷 利美 議員
天田いづみ 議員
小山 幹雄 議員
(質問順)

6月定例会の一般質問は、6月14日(木)、15日(金)、18日(月)に行われ、13名の議員が市政について質問を行い、活発な議論が展開されました。



吉川 義郎
公明党

志木市の災害対策について

●吉川議員 地震などによる災害が起きる前に適切な補修などを急がなければならぬ。そこで、本市の防災計画について聞く。

今後の志木市防災計画の見直しについて。防災行政無線の難聴地域の解消は進んでいるか。

また、老朽化していく現在のアナログ無線を双方向通信や動画なども配信できる非常に優れた機能を持つデジタル方式の機器に更新する考えはないか。

公共施設の耐震化と防災機能の強化について。

民間建築物の耐震化について。自主防災組織がまだ立ち上がっていない町内会があるが、地域コミュニティの活性化と防災教育の充実について。

高齢者世帯、障がい者のいる世帯、妊婦や乳幼児のいる世帯などの避難支援体制についてそれぞれ聞く。

◎市民生活部長 本市の防災計画については、東日本大震災での課題や埼玉県地域防災計画の改正を踏まえ、平成24年度末を目途に見直しを図っていく。

防災行政無線は、上宗岡、中宗岡地区などへの子局の増設や本町2丁目、3丁目地区への改善を図った。

デジタル化については、全国瞬時警報システムとの接続が可能などのメリットもあることから地域防災計画の中で対応していく。

避難所として小中学校は耐震化が完了した。他の公共施設については、公共施設安心・安全化計画に基づき整備していく。

民間住宅の耐震化率は、平成23年度末で約84%である。

自主防災組織には設立時の補助金に加え、活動に対する支援を開始し、地域防災力の充実を図った。

高齢者や障がい者で災害発生時に自力での避難が困難な方を対象に、日常の見守り活動などにも活用できるよう、災害時要援護者台帳の見直しを進めている。



西川 和男
公明党

教育環境について

●西川議員 世界的な気温上昇、また児童・生徒の生活環境の変化を受け、より快適な充実した教育環境が急務である。

子どもたちを猛暑から守ろうと、茨城県取手市が昨年より熱中症対策の一環としてミストシャワーを導入した。取手市によれば、気温が3度程度下がると、素早く蒸発するため、服はぬれず

に体感温度が下がり、グラウンドでの活動などで熱くなった生徒たちの体を冷やすクールダウン効果があるとのことである。小中学校の熱中症対策として、エアコン及びミストシャワーの設置について聞く。

次に、小中学校の校舎や体育館の構造体の改善は大きく進んでいるが、天井材、照明器具、書棚などの非構造部材の耐震化も急務である。なぜなら、非構造部材の落下や転倒によって子どもたちの大惨事をも招きかねない。この非構造部材の総点検への取り組みについて聞く。

◎教育政策部長 小中学校へのエアコンの設置については、校舎の大規模改修等に合わせ計画的に整備する。

熱中症対策としては、日ごろから児童・生徒に対して小まめな水分補給を促すとともに、扇風機の設置やつる性植物を利用した緑のカーテンを設置するなどの対策を行っている。また、全学校にスプリンクラーの設置も完了し、ほこりの防止や打ち水効果も期待している。

なお、ミストシャワーについては、熱中症対策の一方策として、その効果などについて今後情報収集に努めていく。

次に、本市の小中学校の非構造部材については、1学期中に体育館の照明器具やバスケットゴールなど、落下の危険性の高い部材の定期点検を専門家により早急に実施していく。

その他の質問項目

●子どもの安全対策について

その他の質問項目

●交通安全対策について



池ノ内秀夫
市政研究会

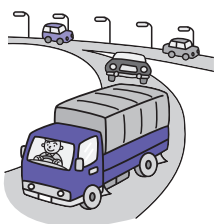
国道254バイパス事業の
早期整備と開通について

◎池ノ内議員 一般国道254号バイパスは、交通渋滞の解消や緊急災害時の重要な役割を果たす道路として、事業が進められてきた。

志木市内の買収率は80%とのことだが、平成24年度計画で約20%の未買収用地、これは距離にすると約500メートルだが、この取得に対する取り組みと予算規模について、例えば1年間に100メートルずつ買収するなど計画はあるのか聞く。

次に、用地買収について、残る20%に対して行き詰まっているようだが、買収交渉等何か問題があるのか、それとも予算上の問題なのか聞く。

また、主要地方道、朝霞蕨線から志木市道2037-2号線、具体的には秋ヶ瀬橋手前から宮戸橋までの間の早期整備と暫定開通について聞く。



◎都市整備部長 埼玉県朝霞県土整備

事務所によると、残る20%の未買収地の地権者数は129名で、住宅については14軒とのことである。埼玉県では計画的な用地買収や整備を進めていくとのことであり、厳しい財政状況の中、平成24年度にはおよそ14億円が予算化されており、積極的に事業を推進していくとのことである。

用地買収の詳細については、個人情報などもあり、市として把握は難しい。

また、下宗岡1丁目地区の宮戸橋通り付近で、延長120メートル、幅員42メートルのモデル地区整備を実施しているところであり、この事業が完成することにより、本事業に対する理解が一層深まるものと考えられ、今後においては、第2期整備区間の用地買収を積極的に行うとともに、モデル地区整備の道路延伸についても努めていくとのことである。



有賀 千歳
みんなの志木

小中学校の不登校等の
問題について

◎有賀議員 さいたま市では5月24日に、子ども、家庭、地域の子育て機能を総合的に支援する（仮称）子ども総合センターの基本計画案を発表した。これは不登校、ひきこもり、いじめ、発達障がい、DV問題に対応するためである。また、この基本計画案の中には、専門機関や研究機能の集約、ワンストップの相談窓口を設けるなど、今まで分散されていた機能を1か所に集約し、機能を高めることがねらいとされている。

本市においては、これらの問題は教育サポートセンターが行っており、平成22年度の相談件数は延べ7,171件であった。

外国では当たり前になっている、予防的効果が大きいスクールカウンセラーの各小中学校の配置を、本市が埼玉県の教育の先進市として進めていく考えについて聞く。



◎教育政策部長 不登校の問題などにあつては早期発見、早期対応が効果的であるとの考えから、教育サポートセンターでは、きめ細やかな相談体制を図っている。さまざまな教育支援活動により、平成15年度には78人いた不登校児童・生徒数も、昨年度は48人に減少し、成果を上げている。

教育委員会としても、スクールカウンセラーの役割は、子どもたちのふだんの行動観察を通じ、不登校などを未然に防ぐ働きかけができるなど、大変効果的であると考えられる。このようなことから、平成20年度から他市に先駆けて、各小中学校にも臨床心理士の資格を持つ相談員をスクールカウンセラーとして派遣をしてきた。平成23年度からは、各小中学校に1人ずつ専任のスクールカウンセラーを充て、毎週1回学校を訪問し、学校との連携強化を図っている。

今後学校の要請に対し柔軟に対応していく。

その他の質問項目

- 観光基本計画について
- 学校施設の貸し出しについて



河野 芳徳

しきの会

放課後学習教室設置について

◎河野議員 近年、不景気によつて貧富の差が学歴の差となつてきています。貧富の格差がこのまま進むと、学歴の格差を超えて人生の格差になると感じている。

文部科学省の調査によると、放課後学習教室の実施により見られた効果・成果は、参加している子どもたちに見られた変化として、約3割の市町村が子どもたちの学習意欲が向上したとしているほか、宿題の提出状況が改善したという効果も2割近く見られている。

一方、学習支援活動にかかわる地域の人材、団体間の連携や活動が活発化したとする市町村も約2割見られる。このように、地域を巻き込み、子どもを見守りながら育てていくことは、すばらしい事業だと考えるが、学力向上及び学習習慣を身につけさせるため本市の取り組みについて聞く。



香川 武文

しきの会

子ども医療費助成制度の適用条件について

◎香川議員 子ども医療費助成事業は平成21年度のスタート以降、助成対象を拡大し、現在、市内の小学1年生から中学3年生までの子どもの自己負担分を助成することで医療費を無料としており、市民からも一定の理解を得ている。

この事業は本市の独自事業であり、市民からの税金を財源として実施していることから、負担と公平の観点からも、市税等を完納していることなどを条件とすることには、全く異を唱えない。

しかし、住所要件については、前年1月1日時点で本市に居住して、1年間市税等を完納し、受給資格の登録をした保護者等に助成される。仮に1月2日に本市に転入した場合、支給の開始が7月であることから、最長で転入後2年半の間、助成を受けられない場合もある。

本市への転入の考慮やイメージアップの向上からも、住所要件を見直し、転入後、速やかに子ども医療費の助成を受けられるよう、体制を見直すべきと考えるが、いかがか。

◎市長 本制度は、実施から既に3年

が経過をしており、制度についても一定の周知が図られてきていると認識をしている。

住所要件を見直した場合、敬老祝金条例や入学資金貸付条例など、他の制度とのバランスや、口座振替等で残高不足などの事由により3月分が引き落とすことができず、受給対象に至らなかった方と、3月中に転入され、すぐに受給対象となる方など、さまざまな問題点を精査し、負担と給付の公平性を踏まえ議論をしていかなければならないと考えている。

見直しについては、議員からの提案というところで、12月議会を別途に他の制度とのバランスの問題について、しっかりと議論していく。

その他の質問項目

- 市民からの健康相談等の窓口について
- 職員による地域担当制度の導入について

その他の質問項目

- 公園、街路等における樹木剪定のあり方について
- 漏れ光等に起因する「光害」対策について



磯野 晶子
公明党

高齢者の手引等の作成に
ついて

●磯野議員 高齢者から、市の各種サービスの内容を聞かれることがあ
る。広報紙に新たな市政情報等が掲
載されるが、すべてを読み切れてい
ないのが現状であり、必要なときに
必要な情報入手できないことも考
えられる。

本市の65歳以上の高齢者は、今年4
月1日現在、市民の約20%にあたる
1万4千人を超える。今後さらに増加
する高齢者の方々に対して、高齢者の
観点でサービスを整理し、わかりやす
い情報提供をすることができないか。
例えば、毎年9月に敬老の日がある
ので、広報紙の見開きに、高齢者向け
のサービス内容の特集を掲載したり、
または、A3判程度の大きさで高齢者
サービスの内容を印刷し、配付したり
することはできないか。

◎健康福祉部長 高齢者がいつまでも
住みなれた地域で安心・安全に生活を
送るためには、本人への情報提供はも
とより、高齢者あんしん相談センター
や民生・児童委員など、高齢者を中
心とした各支援組織間での高齢者保健福
祉サービスにおける情報共有が必要不

可欠であると認識している。

現在、本市の高齢者保健福祉サービ
スの案内は、サービス利用者向けとし
て情報を発信する「広報しき」をはじ
め、高齢者あんしん相談センターや民
生・児童委員、事業者向けとして、毎
年内容を更新している冊子「ふれあい」
を発行し、周知に努めている。

今後、高齢者ご本人をはじめ、サー
ビス利用者最新の情報を提供してい
くとともに、各支援組織と連携し、情
報共有のため、サービス内容の周知を
行っていく。

なお、指摘の高齢者向けの福祉サー
ビスについては、広報9月号で、敬老
会のお知らせもあるので、広報担当と
掲載に向けて今後調整していく。

その他の質問項目

●介護マークを希望者に配布すること
について

●後発医薬品で医療費抑制を図る考え
について

●図書館の経費削減について



内山 純夫
民主党

志木市立市民病院について

●内山議員 平成24年5月29日付で、
志木市立市民病院の経営形態等の検討
事項に関する調査研究報告について、
志木市立市民病院経営形態等検討プロ
ジェクトチームから市長に報告書が提
出された。

この報告書について何点が聞く。
医師の確保を重要視するということ
が報告書に書いてあるが、それと指定
管理者制度の導入との関連をどのよう
に考えているのか。

病院の建物建てかえについて比較検
討したとのことだが、その考えを聞く。
現存の市民病院に就労中の職員の今
後の処遇について。

指定管理者を決定することから計画
を開始すべきと考えるが、いかがか。

◎市長 常勤医師の確保が、経営改善
策の最重要課題であると重要視してお
り、指定管理者制度は、指定管理者が
医療提供体制に応じた常勤医師の確保
ができるものと認識している。

経営形態の変更に伴う建物の建てか
えは、現在地と新たな用地に建てかえ
る場合を比較し、コストの縮減、工期、
現在の診療の継続、入院患者問題を比

較し、新たな用地を取得して建てかえ
る必要があるとした。

指定管理者へ移行を希望する職員、
引き続き市に残りたいという職員につ
いても、最大限配慮していく。指定管
理者へ移行する場合、指定管理者との
話し合いの場で、まず病院の建てかえ
が前提となる。

指定管理者に来てもらうためにも、
次に建てかえる場所を示すことが肝要
であると認識をしている。



志木市立市民病院

その他の質問項目

●映画「武蔵野S町物語」について

●小学生の体力について

●空き家対策について



水谷 利美
日本共産党

一般国道254バイパスについて

◎水谷議員 一般国道254バイパスの平面案についての県との協議が、進んでいない。

一番大きな協議は、せせらぎの小径部分だと思うが、これについては、どのような協議が進んでいるのか。

また、県はモデル工事を延伸していきたくて言っているが、その際、幹線から幹線までの用地を買収できた時点で工事をしていくとの説明であった。

この幹線から幹線というのはどこを指しているのか。宮戸橋通りではなく、県道・さいたま東村山線までを考えているのか、県からはどのような説明があったのか聞く。

さらに、都市計画変更は工事以前に行うべきと思うが、未だに行われていない、早急に行うべきと考えるがいかがか。



天田いづみ
リベラル市民21

環境について

◎天田議員 市営墓地の改修や増設のための事業は問題があった。担当は、環境推進課であったが、自然再生条例の手続きをとらないで始めてしまった。

墓地を増設するため既存の自然が失われたものである。このため環境市民会議委員が現地調査を行った結果、影響緩和として樹木を植栽し、緑地帯を確保する代償措置が妥当とのこと。樹木の植栽や芝が張られたが、失われた面積の10分の1もなく、代償と言えるものではない。条例はあってもなにもなくなってしまつという危機感がある。自然再生条例について聞く。

次に、環境基本計画は市民が本市の環境を守っていくというコンセプトで見直しが始まったが、最後に環境市民会議が開かれたのは平成22年7月である。その後、2か月に一度程度、会議を開くと約束したが、それ以降今日まで1回も開かれていない。

基本的なこととはしっかりと取り組むべきと考えるが、環境基本計画や環境を守る取り組みについて聞く。

◎市民生活部長 自然再生条例は、人と自然が共生し、健康で安全な生活を営むことのできる環境の創造を目指すことを目的としている。適用事例については、市営墓地拡張工事であり、この工事については、平成21年9月21日に環境市民会議自然保全再生部会の現地の調査後、志木第三小学校との境界部に樹木を植栽し緑地帯を確保した。

なお、工事は、平成21年11月から22年3月まで実施した。今後においては、自然再生条例の基本理念に基づき適正に取り組んでいく。

次に、第2期環境基本計画は、平成21年度から平成30年度までの10年間の計画となっている。今年度は、計画策定から4年目を迎え、計画中期に差し掛かることから、計画目標の達成に向けて関係機関及び関係団体と連携を密にし、適切な会議の開催や計画の推進を図っていく。

その他の質問項目

- 市民病院について
- 教育行政について
- 子ども医療費について
- 堤防の舗装について
- せせらぎの小径について

その他の質問項目

- 緑の保全について



鈴木 潔
しきの会

通学路整備について

●鈴木議員 県では、平成24年度から平成28年度に行う通学路の整備計画を前倒しすると発表した。

京都府亀岡市などで集団登校中の事故が相次いだことを受けた対応で、知事は、悲惨な事故が起きないようにしたいということである。この県の発表を受け、本市としてはどのように考え、対応するのか。

また、通学路において、学校やPTAなどから、ガードレール等の要望等もあると思うが、そのような危険箇所について、学校側とどのような調整をしているのか聞く。

◎都市整備部長 県は、平成23年度、通学路安全総点検を実施し、この結果をもとに、改善整備を必要とする694件について、5か年計画が策定された。

しかし、本年4月23日、京都府亀岡市で発生した事故を受け、5か年計画を前倒しし、平成24、25年度の2か年で9割の整備を実施するとの発表があり、本市においても、既に整備をしたところもあるが、前倒しをして整備を実施するよう、計画の見直しを行って

いる。

また、4月25日に市長並びに教育長が改めて通学路における具体的な危険箇所の点検の実施を指示したところである。今後、この調査結果を受けて、道路管理者と教育委員会が連携を図り、対応していく。



市内の通学路

その他の質問項目

- 指名競争入札について
- 供託物の返還について



高浦 康彦
日本共産党

地域防災計画の見直しについて

●高浦議員 東日本大震災を踏まえて、さまざまな教訓のもとに地域防災計画の抜本的な見直しが求められている。

去る3月議会で、地域防災計画の見直しについての質問の際、防災会議を早期に開催し、平成24年度末をめどに決定していくという答弁であったが、防災会議は、これまで何回開かれたのか、今後のスケジュールについて聞く。

また、地域防災計画の見直しについて、改正する項目のポイントについて聞く。
さらに、市民からの意見をどのように生かしていくのか、住民説明会を行う予定はあるのか聞く。

◎市民生活部長 地域防災計画については、東日本大震災で明らかになった課題や市民総合防災訓練後の市民からの意見、あわせて国の動向、埼玉県地域防災計画の改正を踏まえ、見直しを進めている。

5月23日に、防災会議を開催し、災害対策本部機能の充実や災害時要援護者の支援体制、放射能対策などに加え、

災害時の基本である自助、共助、公助の考え方を盛り込んだ見直し方針が決定された。この方針をもとに平成24年度末を目途に見直しを図っていく。

また、避難所の運営マニュアルの整備、備蓄品の種類、数量の見直し、避難所における乳幼児や女性への配慮などを含め見直しを進めていく。

市民からの意見については、市民意見公募手続制度で募集し、住民説明会等については、防災会議の中で検討していく。



市民総合防災訓練のようす

その他の質問項目

- 放射能汚染問題について
- 国民健康保険制度について
- 市営墓地について
- 急傾斜地の崩壊による災害の防止について
- 幸町一丁目「愛宕通り」の交通安全対策について



小山 幹雄
しきの会

市民バスについて

●**小山議員** 柳瀬川駅・志木駅間のバスは、便利で市民からは好評で大勢の方が利用している。

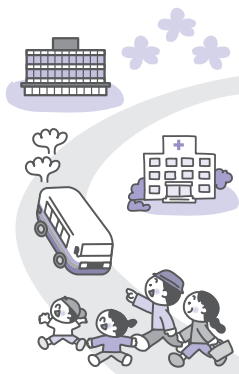
しかし幸町地区や宗岡地区は、このようなバスが通っていない。例えば、柳瀬川駅から幸町地区を通過して志木駅南口までの路線である。

また、宗岡地区にもバスが必要ではないかと考える。今のふれあい号を廃止してでも、自由に乗り降りできる循環バスを運行することにより、交通の便がよくなり市民生活が向上すると考えるが、これらのバスの運行の考えについて聞く。

◎**市民生活部長** 本市の交通施策の充実、推進については、財政状況や道路網を踏まえ、民間バス会社のノウハウを活用した交通施策の推進を図っている。

平成22年には民間バス会社により、北朝霞駅から上宗岡地区を経由し、南与野駅までのバス路線が新たに開設された。また、平成23年3月には市と民間バス会社との協議により、柳瀬川駅東口から第二福祉センター、志木市役所、市民会館などを経由して志木駅東口に至るバス路線を開設した。

指摘の意見については、今後民間バス会社との意見交換会もあるので、その内容を十分伝えていく。



その他の質問項目

- 交通安全対策について
- 市民病院について
- 高齢者対策について

第36号議案 平成24年度一般会計補正予算(第1号)の修正案が賛成少数にて否決

第36号議案 平成24年度一般会計補正予算(第1号)を審査した総務常任委員会において、市民病院建て替え候補地の測量・鑑定に要する費用を減額する内容の修正案が提出され、可決されました。しかし、6月21日に開催された本会議で修正案は、賛成少数で否決され、原案が可決されました。

なお、委員会における修正案の提案理由は下記のとおりです。

議案審査において明らかになった市民病院の運営形態、市民病院の存続は否定するものではないが、これまで議会に提供された情報等を踏まえると、さらに検討の余地があり、本補正予算の現況測量等は時期尚早である。

現時点、市民病院の建て替えと経営形態の在り方は異なる問題として捉えなくてはならない。については、プロジェクトチームで議論された業務範囲に対する指定管理者の応募等の可能性、指定管理者導入後の将来的な詳細なる財政シミュレーション、市民病院改革委員会でも示された、広域的な視点での議論の展開等、具体的な状況が示された時点で本事業費の計上をすべきと考える。

よって、歳出2款総務費、1項総務管理費、4目財政管理費に計上されている財産管理に要する経費366万8千円すべてを減額し、歳入の18款繰入金、1項基金繰入金、1目財政調整基金繰入金に戻したいので、この案を提出する。

平成24年第3回(9月)定例会のお知らせ

※日程は予定であり、変更になることがあります

月 日	会議の内容
9月3日(月)	開 会
9月4日(火)	議案調査日
9月5日(水)	議案調査日
9月6日(木)	総括質疑
9月7日(金)	議案調査日
9月10日(月)	議案調査日
9月11日(火)	常任委員会
9月12日(水)	常任委員会
9月13日(木)	常任委員会
9月14日(金)	常任委員会
9月18日(火)	議案調査日
9月19日(水)	一般質問
9月20日(木)	一般質問
9月21日(金)	一般質問
9月24日(月)	議案調査日
9月25日(火)	議案調査日
9月26日(水)	閉 会

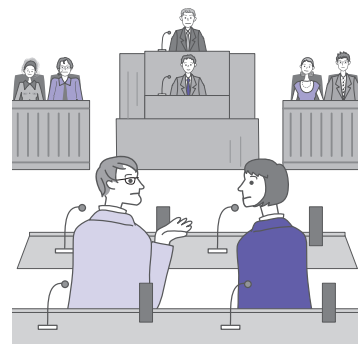
(議長交際費 平成24年4月～6月)

支出日	件 名	支出額
4月7日	柏町内会平成24年度定期総会	3,000円
4月13日	平成24年度 志木市立小中学校管理職等歓送迎会	7,000円
4月20日	志木市役所部課長会懇親会	7,000円
4月21日	平成24年度 志木市商工会青年部通常総会	5,000円
4月21日	加藤寿一元市議会議員葬儀香典	10,000円
4月21日	加藤寿一元市議会議員葬儀生花	15,000円
4月22日	志木ライオンズクラブ35周年記念式典	5,000円
5月11日	志木市議会議員OB親交会定期総会	3,000円
5月11日	平成24年度 志木市商工会女性部通常総会	3,500円
5月12日	志木市立学校PTA連合会総会・懇親会	5,000円
5月13日	平成24年度 志木市町内会連合会定期総会	10,000円
5月18日	志木市商工会第52回通常総代会	5,000円
5月26日	朝霞地区交通安全協会志木支部総会	10,000円
6月1日	宗岡第四小学校PTA歓送迎会	3,500円
6月4日	第22回志木市商工会東日本大震災支援 チャリティゴルフ大会表彰式	5,000円
6月24日	平成24年度 志木市消防団県外視察研修	10,000円

市議会の傍聴にぜひお越しください



市議会は、一般に公開され、どなたでも傍聴することができます。傍聴は、市議会活動に触れることができる身近な方法ですので、ぜひ、傍聴にお越しください。傍聴席は、一般席(70席)、車いす席があります。傍聴する場合は、受付で住所・氏名を記入していただきます。



発行年月日 / 平成24年8月1日

発 行 / 志木市議会

〒353-0002 埼玉県志木市中宗岡1-1-1

TEL 048-473-1111 FAX 048-471-7091

編 集 / 議会だより編集委員会

委員長 鈴木 潔

副委員長 香川 武文

委 員 高浦 康彦

池ノ内秀夫

吉川 義郎